

2022年9月期 第2四半期
決算説明資料

日本エコシステム株式会社

くによく

証券コード：9249

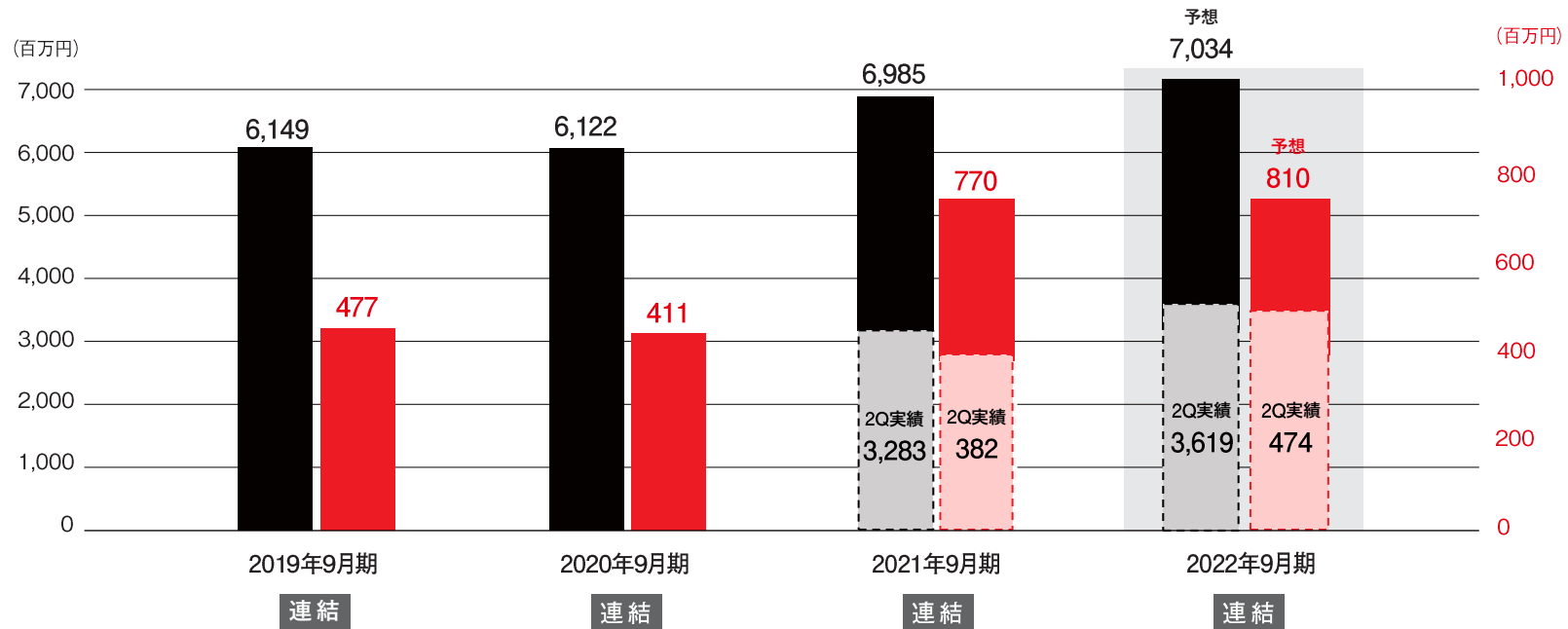
I. 2022年9月期 第2四半期 決算概要	2P
II. 2022年9月期 (5/12時点) トピックス	8P
III. 下期に向けて通期業績予測	18P
IV. 成長戦略	21P
V. Appendix	27P

I 2022年9月期 第2四半期 決算概要

第2四半期 売上高・営業利益の推移



2022年9月期 第2四半期（累計）は前年同期比で増収増益を達成
当期予想に対し順調な推移



■ 売上高(左軸) ■ 営業利益(右軸)

(注) 2021年9月期 第2四半期数値は監査法人の四半期レビューを受けていないため参考数値となる。

第2四半期 損益計算書サマリー



(単位：百万円)

	2021年9月期 第2四半期累計実績	2022年9月期 第2四半期累計実績	対前年同期比	通期計画	進捗率対計画比
売上高	3,283	3,619	110.2%	7,034	51.5%
営業利益	382	474	124.1%	810	58.6%
経常利益	410	514	125.5%	831	61.9%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	270	282	104.6%	588	48.1%

(注) 2021年9月期 第2四半期数値は監査法人の四半期レビューを受けていないため参考数値となる。

売上高の主な増加要因

- 太陽光発電設備の高額工事受注増
- 水循環システム (水族館等) の需要増
- 公営競技施設の機器設置工事受注増

当期純利益の主な増減要因

- 売上増加に伴う営業利益及び経常利益の増加
- 株式会社日新ブリッジエンジニアリングを完全子会社化したことに伴う特別損失計上
- 上場による増資により税金負担増加 (中小法人から大規模法人へ変更)

第2四半期 セグメント別実績

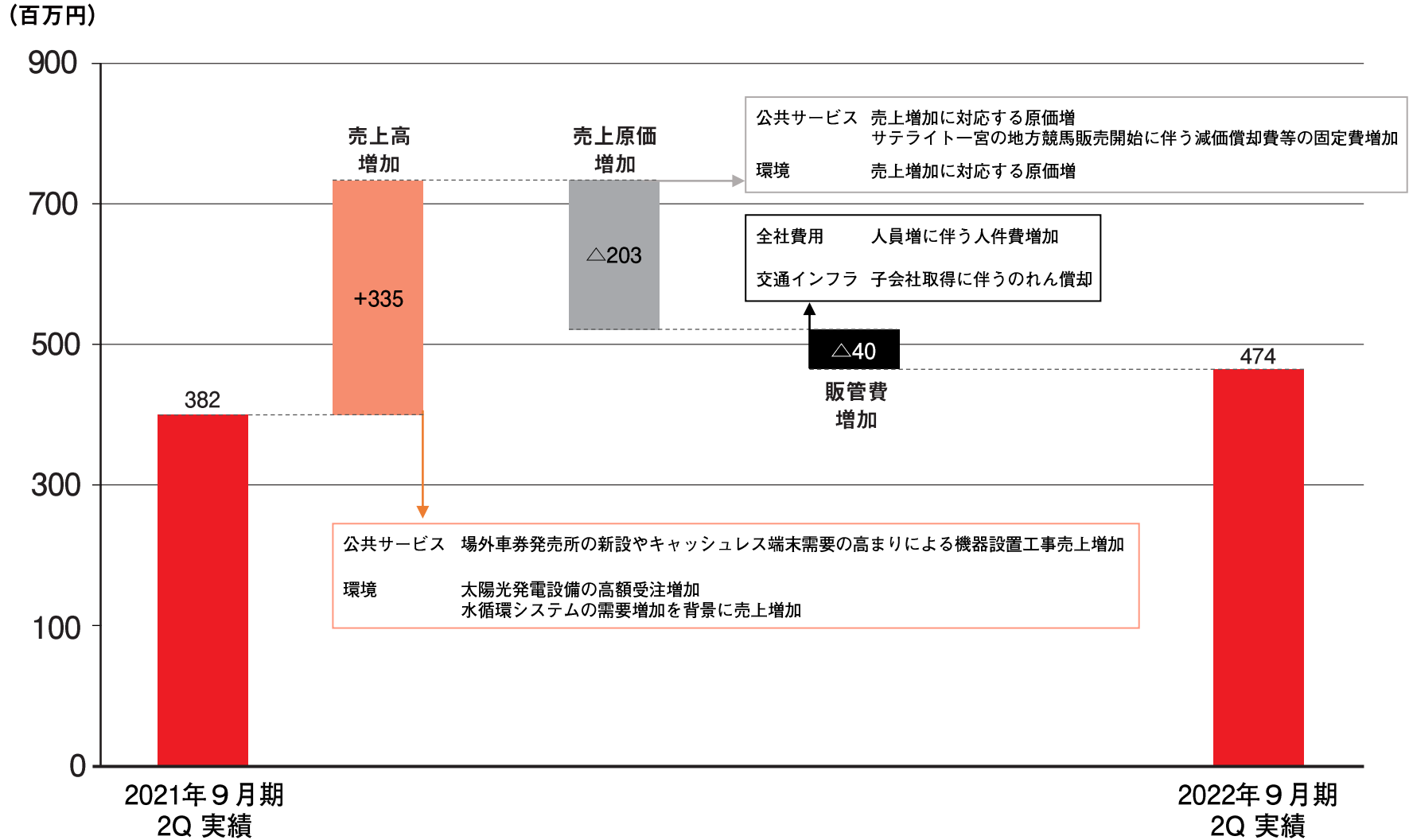


(単位：百万円)

区分		2021年9月期 第2四半期累計実績	2022年9月期 第2四半期累計実績	対前年同期比	通期計画	進捗率対計画比
公共サービス 事業	売上高	1,756	1,722	98.1%	3,571	48.2%
	営業利益	271	318	117.3%	595	53.5%
環境事業	売上高	253	575	227.2%	852	67.5%
	営業利益	△11	74	—	90	82.0%
交通インフラ 事業	売上高	1,110	1,200	108.1%	2,237	53.7%
	営業利益	317	329	103.9%	586	56.3%
その他	売上高	163	120	74.1%	372	32.4%
	営業利益	50	12	25.0%	100	12.7%

(注) 2021年9月期 第2四半期数値は監査法人の四半期レビューを受けていないため参考数値となる。

第2四半期 営業利益の増減要因分析



株主還元



配当の状況

株主の皆様へ感謝の意を表すため、2022年9月期 第2四半期末を基準日とした**上場記念配当10円/株**を実施
2023年9月期以降の配当性向については25%前後を目指す方針

2021年9月期

期末配当 25.00円/株

年間配当 25.00円/株
配当性向 8.7%

2022年9月期

期末配当 40.00円/株
記念配当※1 10.00円/株

年間配当 50.00円/株
配当性向 22.6%

※1 2022年9月期 第2四半期

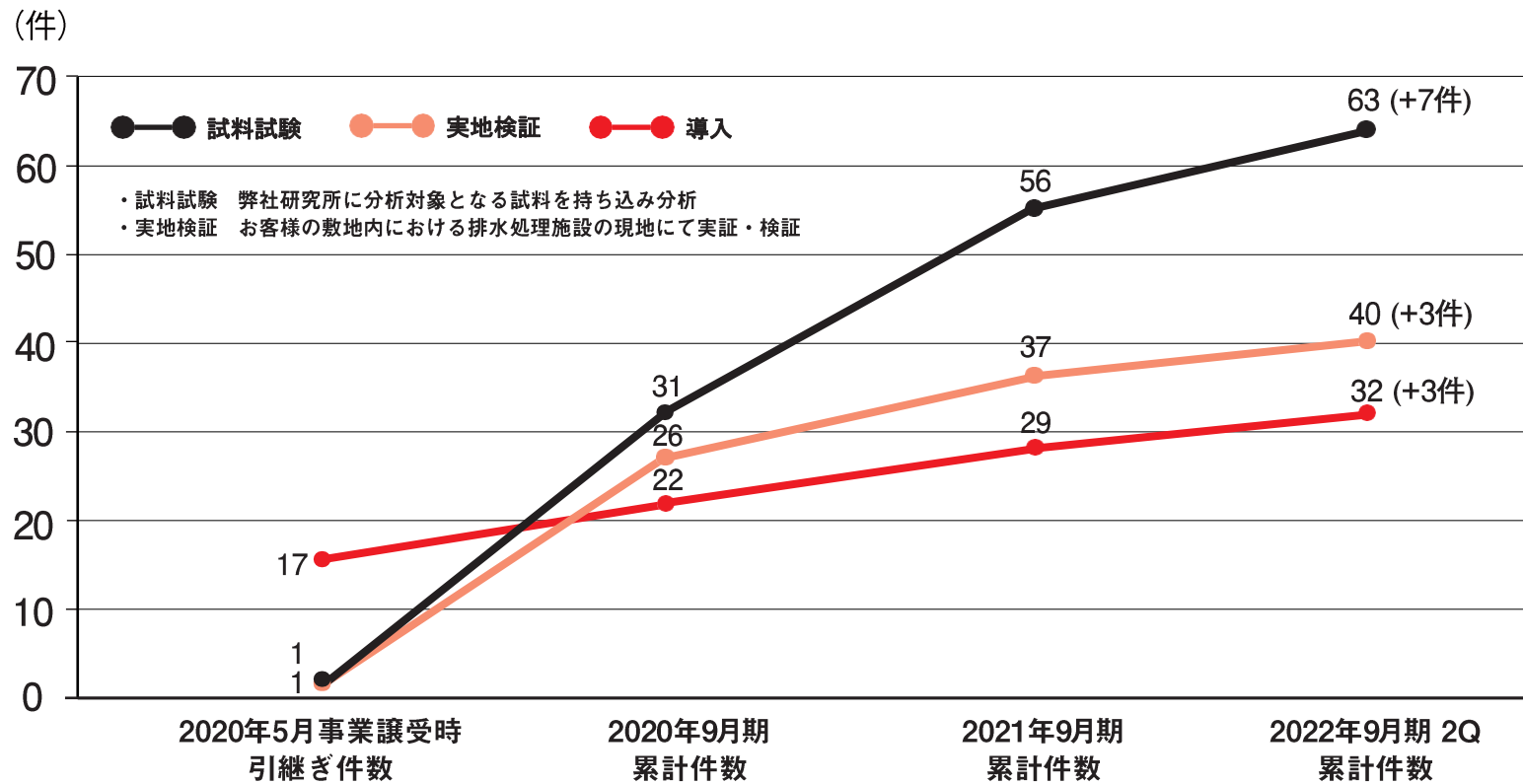
II 2022年9月期 (5/12時点) トピックス

環境事業



排水処理剤 試料試験・実地検証の件数推移

積極的な営業活動により **試料試験及び実地検証の件数が拡大**



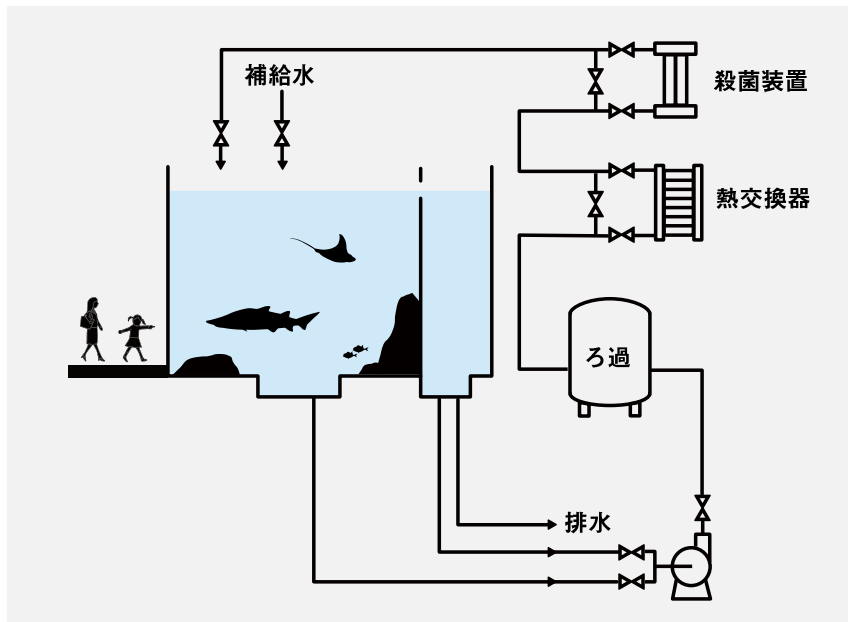
環境事業



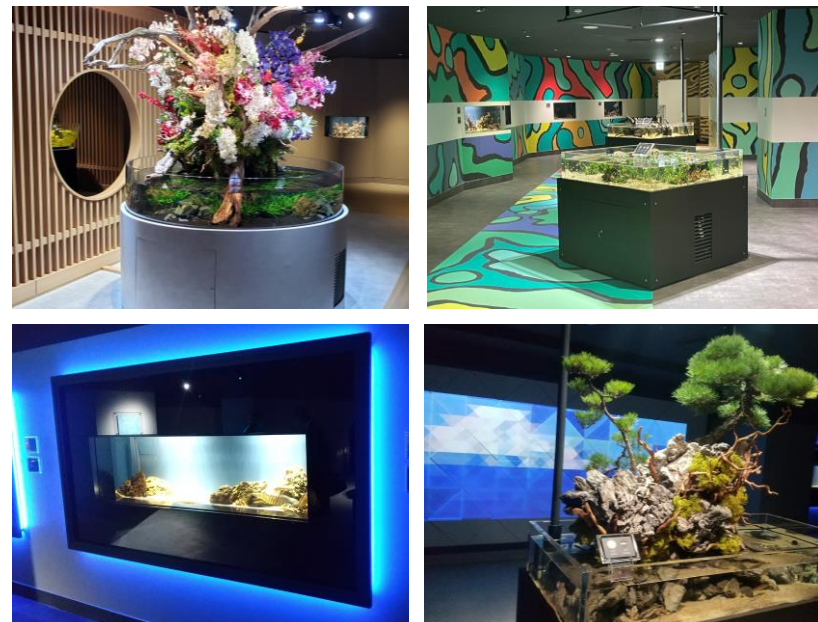
「排水浄化処理」に加え「水循環利用」まで含めた“水をきれいにする”トータルエンジニアリング

グリーン・サステナブルケミストリーに即した、
[薬剤] [排水浄化処理/水循環システム] [設備]まで水をきれいにする方法をご提案

水循環システム イメージ図



水循環システム等 展示イメージ



■水循環システム実績 宮島水族館、スマートアクアリウム静岡、串本海中公園センターなど

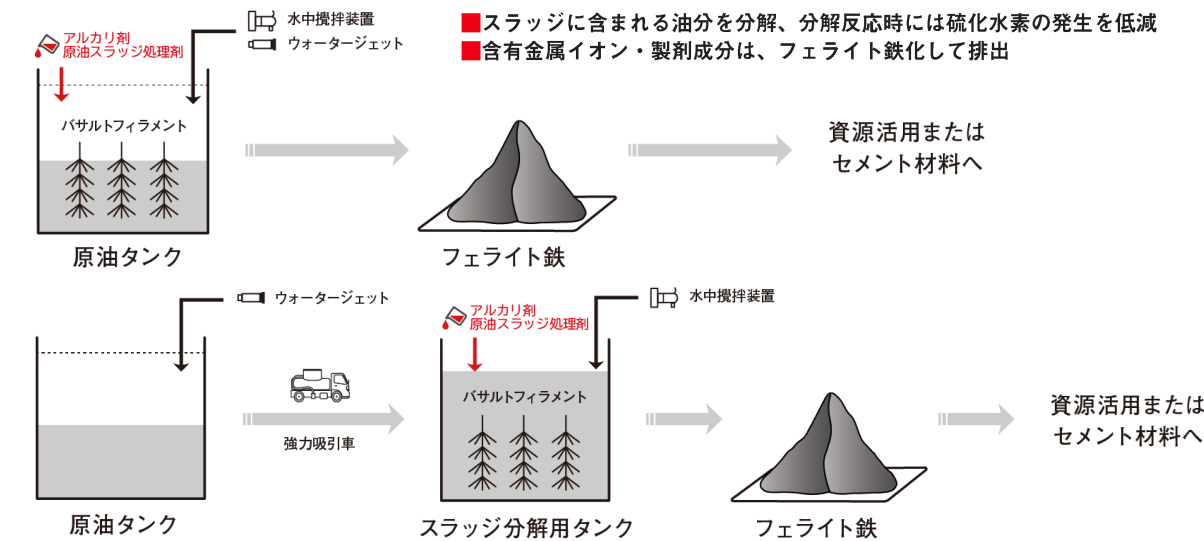
環境事業



積極的な研究開発による、当社独自技術の確立（原油スラッジの処理に関する特許登録）

世界的な課題となっている原油スラッジ処理において、
 ガス・水・廃棄物の複数の処理に対応できる**当社独自の技術**を開発
 低コストで安全に廃棄物の削減を可能とする方法で世界的な課題解決に挑む

イメージ図



特許証 (第7010525号)

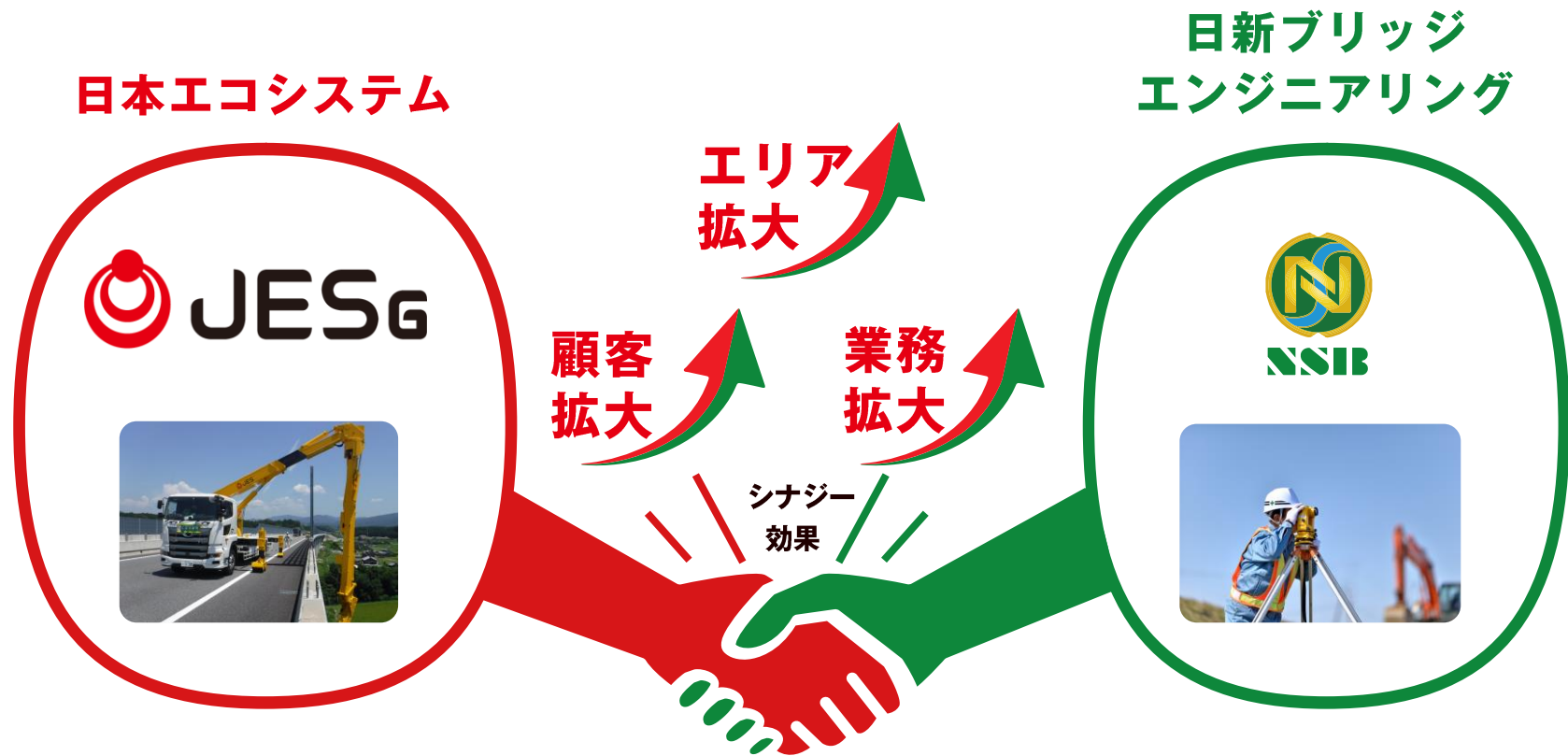


交通インフラ事業



M&Aによるエンジニアリング領域の拡張・拡大

橋梁点検や調査補修補強設計等を中心とする建設コンサルタントを子会社化
相互に **[業務エリア]** **[業務種類]** **[顧客]** の拡大といったシナジー効果を創出



公共サービス事業



2021年10月31日より「地方競馬」の場外発売を開始

新たに地方競馬の発売を開始し、競輪・オートレース・競馬の3競技が楽しめる全国でも珍しい複合型場外発売施設へ



地方競馬の発売開始

地域のお客様の楽しみを増やす憩いの場を目指し、地方競馬の取扱いを開始。
様々なイベントの実施やサービスの向上を図り、地域に根差し皆さまに愛される複合型場外発売施設を目指す。



公共サービス事業



包括業務、機器設置・工事への積極的な営業・入札参加

近年、民間へ運營業務を委託する動きが活発化
2022年初夏にも東北地方に新たな競輪場外施設のオープンが予定されるなど
withコロナの時代においても高まる需要を積極的に取り込む

デジタルサイネージやキャッシュレス投票機器の導入などの人員を伴わない非接触型でのユーザビリティ機器の需要高まり

競輪本場数43場のうち、2016年時点で16場だった民間委託場が2022年では25場へ増加。
業務の包括化においても需要の高まり



地方自治体

業務委託の活発化

民間運営

[2021年9月期 入札参加状況]

新規包括入札 1件

継続包括入札 2件

公共サービス事業



競輪業界 “初” のAI予想システム

タイプの違う2種類の予想エンジンをキャラクター化しブランディング
公営競技業界の次期 メインターゲットとなる若年層へ響くアプローチ



如月 サライ

当たると大きい
破壊力抜群の
予想エンジン

Type S

Analysis

過去の膨大なデータから分析

的中率を
重視した
予想エンジン

Type A



蒼月 アイリーン

AI予想の
3つの特徴

Extract

開催場・バンクの
特性にあったデータを抽出

Challenge

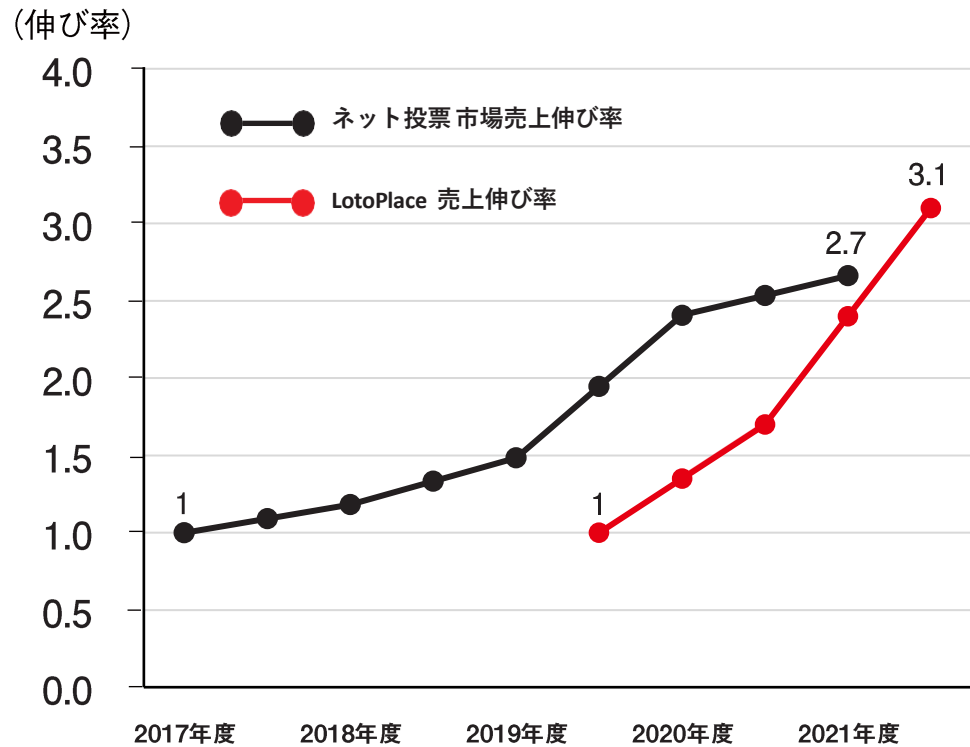
AIが競輪の
的中予想に挑戦

公共サービス事業



新型コロナの影響もありデジタル化（=ネット投票）が急激に伸長

競輪業界“初”のAI予想システムで他投票サイトとの差別化
 キャンペーン等PRによる知名度向上を図り、加入者数の継続的な増加を狙う



※上記グラフは、起点を1とし現時点までにどれだけ伸長したかの倍率を示す

競輪・オートの車券・くじ購入の公式サイト



過去5万レースのデータからAIによる予想が実現。2019年度よりサイト稼働し、順調にユーザーが増加。



Alcast analysis

AI予想の活用で初心者でも難しい競輪予想が簡単に。さらにアプリ化で気軽に情報取得ができるように。



公共サービス事業



公営競技場 受託場数の推移

公営競技施設の運営・保守等について受託後は安定的な運営が継続できている
[民間委託化] または [機器更新時] を契機に受託場数の拡大を目指す

	本場 ※実際に自転車やバイクが走る競技場		場外発売場 ※投票券を販売するのみの施設		競技別			
	包括受託 (料率売上)	部分受託	包括受託 (料率売上)	部分受託	競輪	地方競馬	オートレース	ボートレース
2018年9月	—	4場	1場	11場	9場	4場	—	3場
2019年9月	—	4場	2場	11場	10場	4場	—	3場
2020年9月	—	4場	3場	11場	10場	4場	1場	3場
2021年9月	※1 1場	3場	3場	11場	10場	4場	1場	3場
2022年9月 第2四半期	1場	3場	4場	10場	10場	5場	1場	2場

※1 部分受託から包括委託へ契約形態を移行

※2 上記二つの表は日本ベンダーネット及びサテライト一宮の受託場数を合算した数値を表記

III 下期に向けて通期業績予測

通期業績見通し



	2021年9月期（実績）		2022年9月期（計画）			
	金額 （百万円）	構成比 （%）	金額 （百万円）	構成比 （%）	前年同期比	
					増減額 （百万円）	増減率 （%）
売上高	6,985	100.0	7,034	100.0	+48	+0.7
売上総利益	1,925	27.6	2,074	29.5	+148	+7.7
営業利益	770	11.0	810	11.5	+39	+5.1
経常利益	801	11.5	831	11.8	+29	+3.7
親会社株主に 帰属する 当期純利益	571	8.2	588	8.4	+16	+2.9
EPS	285.95円	—	※1 220.99円	—	△64.96円	△22.7

※1 EPS減少は、新株発行の影響（希薄化）によるもの

新型コロナ 事業への影響



公共サービスの競技場来場者数の減少影響により多少のマイナス

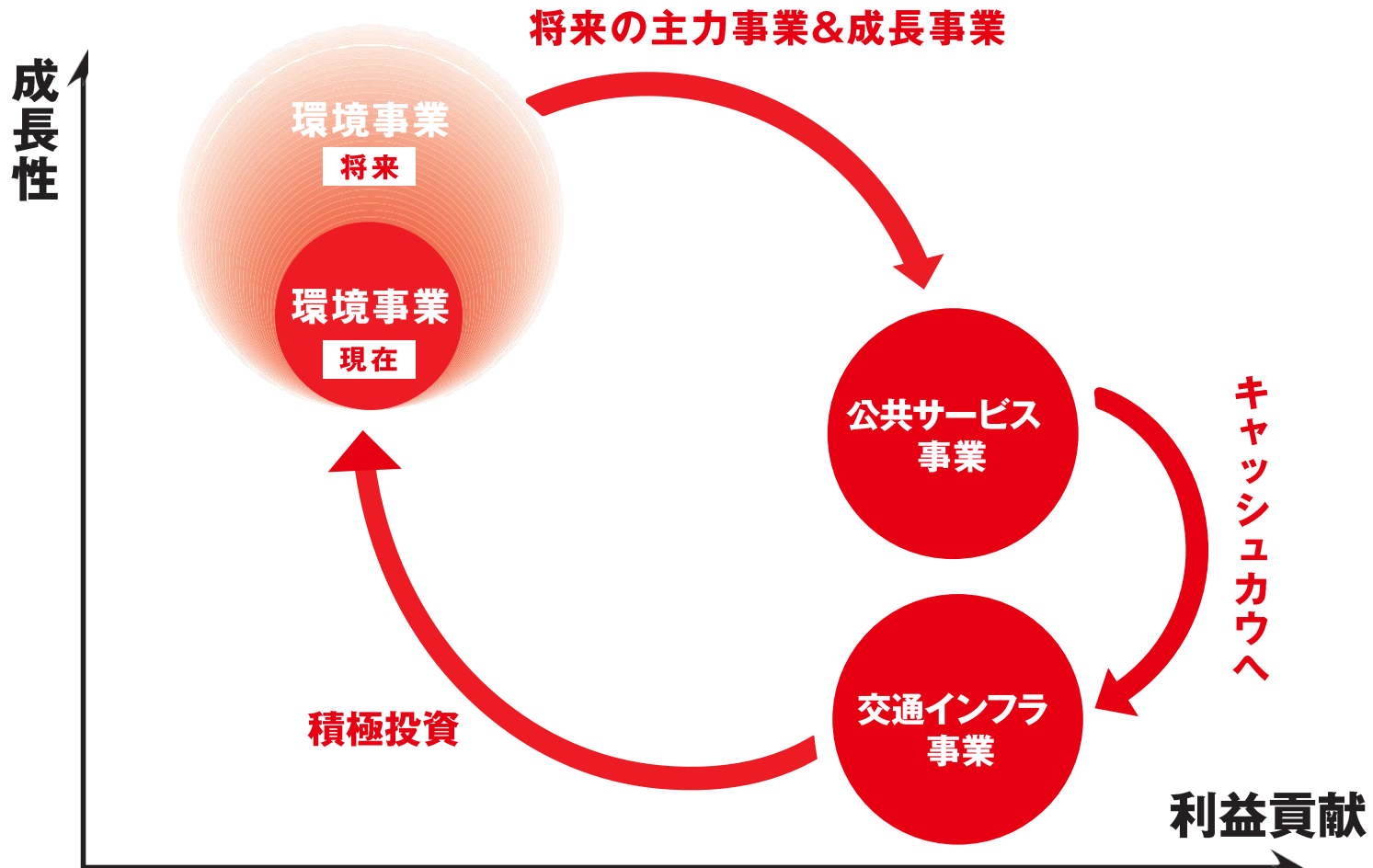
セグメント		2021年9月期		2022年9月期（予想）	
		影響度	概況	影響度	概況
公共サービス	運営保守	マイナス影響（中）	短縮営業に伴う 売上減少	マイナス影響（小）	時短営業に伴う 売上減少（僅少）
	ファシリティ	—	受注・工事ともに 影響なく進捗	—	受注・工事ともに 影響なく進捗
環境		—	販売影響なく進捗	—	販売影響なく進捗
交通インフラ		—	受注・工事ともに 影響なく進捗	—	受注・工事ともに 影響なく進捗

IV 成長戦略

成長戦略



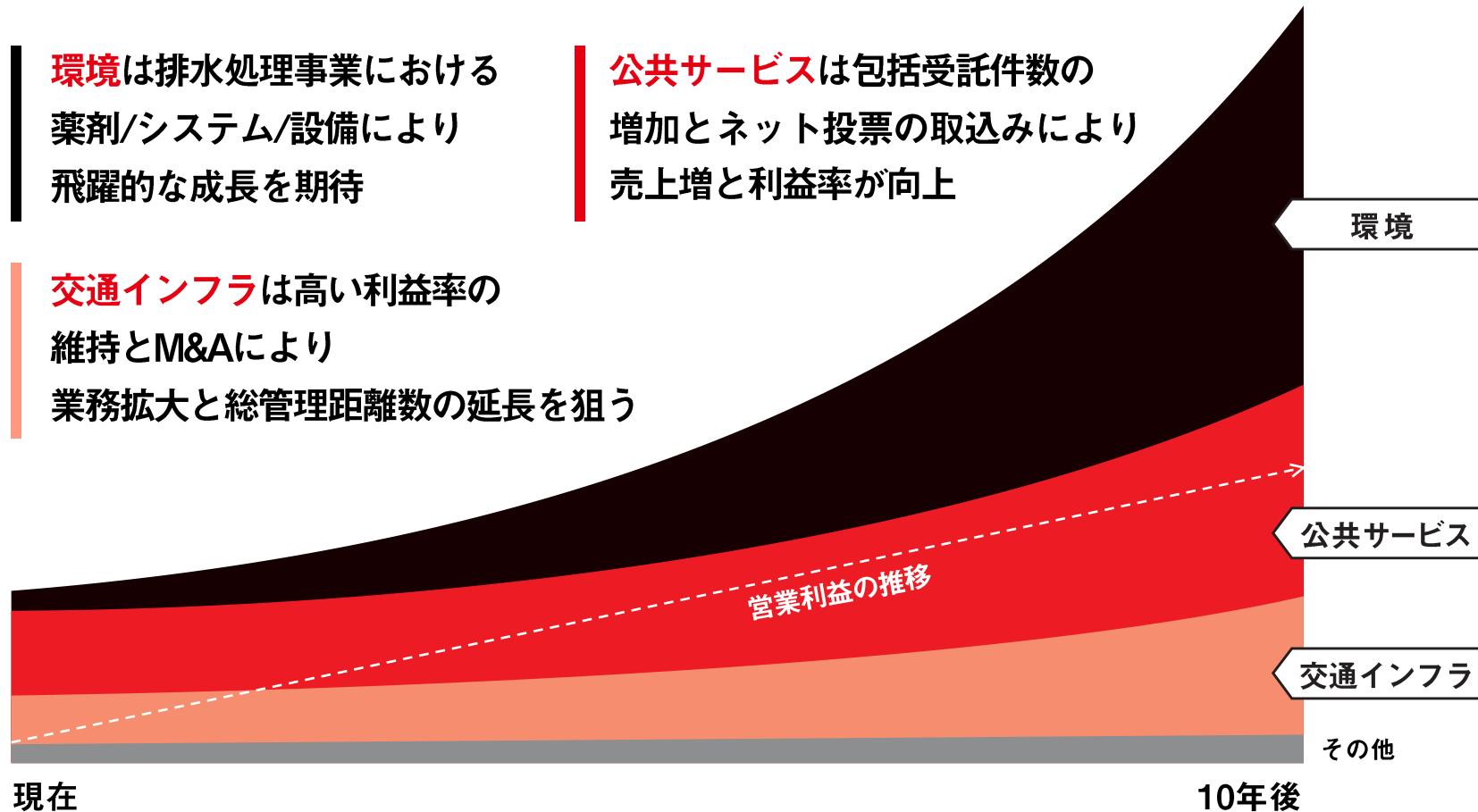
事業ポートフォリオのエコシステム



利益成長イメージ



クロスセルを柱とした部門間シナジーの創出とM&Aによる成長



成長ポテンシャル(環境)



成長ポテンシャル(公共)



成長ポテンシャル(交通)



出所：「国土交通省所轄分野における社会資本の将来の維持管理・更新費の推計」・「老朽化対策の取り組み」国土交通省・社会資本の老朽化の現状と将来（インフラメンテナンス情報）

V Appendix

会社概要



会社名	日本エコシステム株式会社	資本金	751,216,638円
設立	1998年11月	決算期	9月
会社所在地	愛知県一宮市本町二丁目2番11号 JES一宮ビル	発行済株式数	2,675,500株
代表者	代表取締役社長 松島 穰	従業員数	432名(平均臨時雇用人員含む) ※22/3/31時点
事業内容	公共サービス事業	監査法人	EY新日本有限責任監査法人
	環境事業 交通インフラ事業	上場市場	東京証券取引所 スタンダード市場 名古屋証券取引所 メイン市場



社是・経営理念



〔社是〕

み

こう

どう

未
晃
道

未来の地球を照らし、
輝き続ける事業を創造します。

〔経営理念〕

事業を通じ、

物心両面の幸福を追求すると同時に、
かけがえのない地球環境の
維持にも貢献します。

事業概要



事業区分及び主な事業の内容

当社グループは計8社で構成されており、社会インフラサービス企業として公共サービス事業、環境事業、交通インフラ事業に取り組んでいます

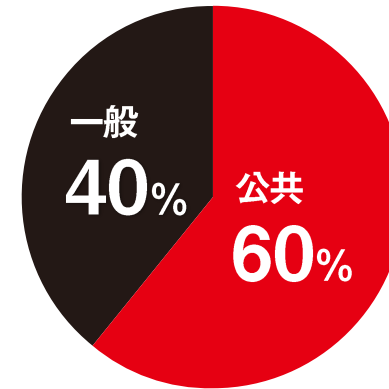
区分	主な事業の内容	主な関係会社
公共サービス事業	<ul style="list-style-type: none"> 公営競技場における、トータリゼータシステムの設計・製造・販売・機器設置及び一般事業者も含めた空調衛生設備等のファシリティに関わる事業 公営競技場における、トータリゼータシステムのメンテナンスに関わる事業、AIによる競輪予想サービス・警備・清掃等の運營業務に関わる事業 	当社 日本ベンダーネット(株) サテライト一宮(株) 中央警備保障(株)
環境事業	<ul style="list-style-type: none"> 排水浄化効率を促進させる製剤の研究開発、製造及び販売業務に関わる事業 産業用太陽光の再生可能エネルギー発電設備の設計、施工、保守等業務に関わる事業 	当社 JESテイコク(株)
交通インフラ事業	<ul style="list-style-type: none"> 高速道路を中心とした構造物点検、電気通信設備・ETC保守、交通管制業務、道路照明灯保守等の道路エンジニアリングに関わる事業 高速道路を中心とした維持修繕工事、事故・災害復旧工事、雪氷対策作業、土木工事、交通規制等の道路メンテナンスに関わる事業 	当社 (株)ワンスライフ (有)ぼくんちオジカオート (株)日新ブリッジ エンジニアリング
その他	<ul style="list-style-type: none"> システム保守業務、AI技術を活用したICTソリューションの提供に関わる事業 不動産の仲介、売買、賃貸等不動産に関わる事業 	当社

事業概要

当社事業の特徴

BtoP (Public)
を中心とした
安定性の高い領域で
事業展開

2021年9月
 売上構成比



当社グループは参入障壁の高い3セグメントより構成

公共サービス事業

自治体が主催する公営競技における運営サービスを展開。川上のシステム設計から川下の施設運営までを一貫通貫で提供する事により差別化。

環境事業

再生可能エネルギー事業に加え、排水処理事業を開始。将来の主力ビジネスに育成中。

交通インフラ事業

主に自治体・中部エリア高速道路会社からの委託を受けて構造物点検や電気通信設備・ETC等の保守サービスを展開。高度な安全技術で高付加価値の高い収益性を実現。

事業概要



当社グループとセグメント

エンジニアリング・メンテナンスを強みに公共施設・環境関連向け「社会インフラサービス企業」として事業展開

得意先 (**Public** : 地方公共団体・高速道路運営事業者等)



【排水浄化処理事業】

排水浄化設備のメンテナンス
排水浄化効率促進剤の
製造・販売

【再生可能エネルギー】

太陽光発電設備の
販売・施工等

公共 サービス

公営競技施設
設備の
保守・運営等



人財・機動力
エンジニアリング
メンテナンス

環境

交通 インフラ



【エンジニアリング】

高速道路付帯設備 (ETC等)
の維持・管理、
LED照明設備の設置等

【メンテナンス】

高速道路の橋梁点検、
事故処理・雪氷対策等

環境事業



ビジネスモデル

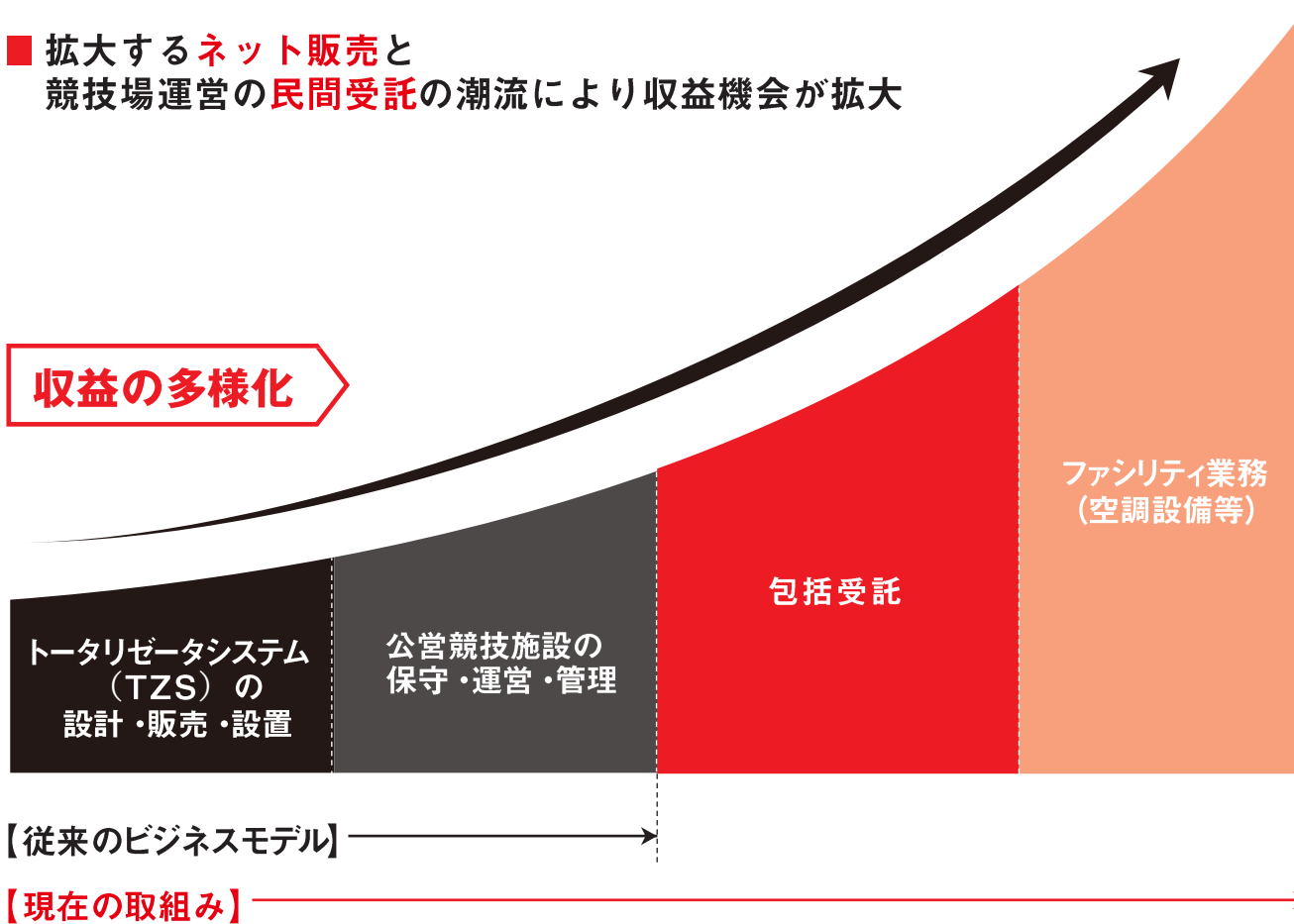
- 2020年より排水浄化処理事業を開始、将来の主力ビジネスに育成中
- 産業用太陽光発電設備の施工及び売電が現在の主力事業



公共サービス事業

ビジネスモデル

- 公営競技運営業務を**一気通貫**で提供する事により差別化
- 拡大する**ネット販売**と競技場運営の**民間受託**の潮流により収益機会が拡大



1 運営事業者が個別に発注していた業務を包括的に受託
業務効率化等により
収益率が向上

2 AI予想、ネット販売サイトの運営



Alcast analysis



3 場外車券場を運営



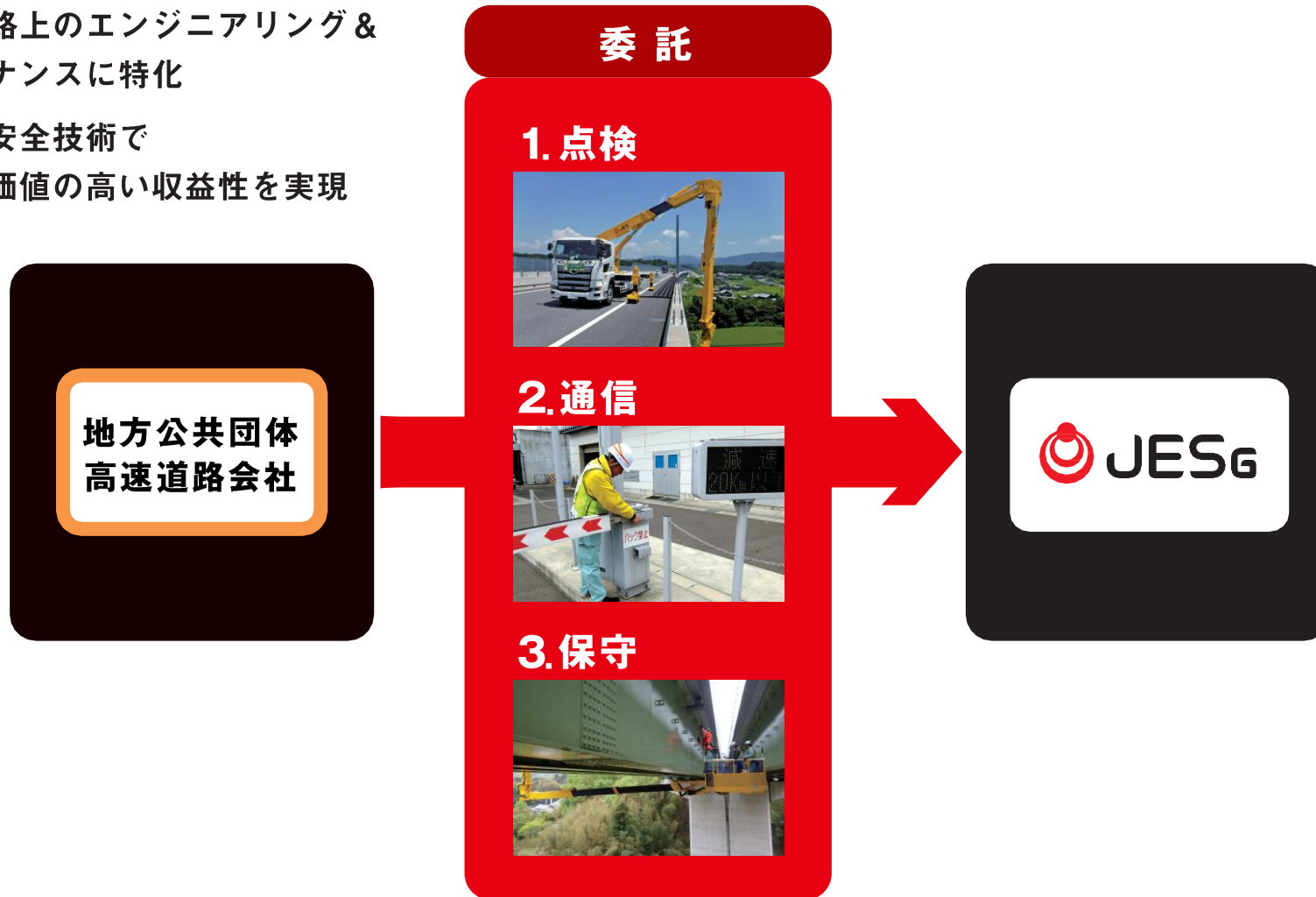
4 空調設備等の
ファシリティ業務

交通インフラ事業



ビジネスモデル

- 高速道路上のエンジニアリング & メンテナンスに特化
- 高度な安全技術で高付加価値の高い収益性を実現



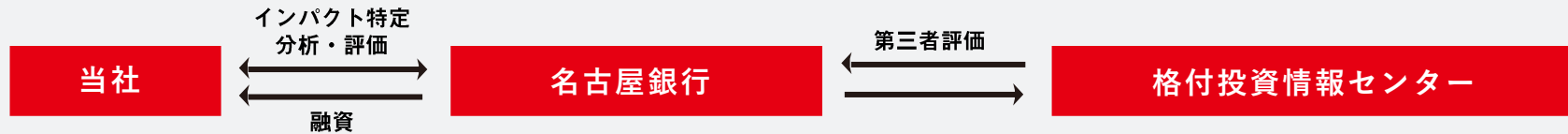
サステナビリティおよびCSR



当社は、SDGsへの取り組みを強化し、
地域の皆様とともに持続可能な社会の実現に向けた活動を推進いたします

ポジティブ・インパクト・ファイナンス活用による企業価値向上

当社の企業活動における包括的なインパクト（ポジティブな影響とネガティブな影響）を分析及び評価を行い、株式会社格付投資情報センターから第三者意見を取得し、名古屋銀行が取り扱うポジティブ・インパクト・ファイナンスを実行しました。



【地球環境に配慮した排水浄化処理の普及】

- 排水を無害化できる製品の開発・製造
- 排水浄化処理および水循環利用の導入促進



【再エネの利用促進】

- 太陽光発電設備の設置・施工
- 再生エネルギーの導入促進



【交通インフラ長寿命化への貢献】

- 経年劣化した高速道路・トンネル等の補修事業の拡大



本資料における注意事項




本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

本資料及び当社IRに関するお問合せ先

管理本部IR担当

 **0586-64-9249**

 **ir.jesg@jp-eco.co.jp**

